

意思決定支援

～余暇活動の選択から日常生活場面に向けて～

NPO法人藤倉会 放課後等デイサービス・生活介護のんびり学園

迎田 由美子

法人・事業所の紹介

□法人設立 2017年4月

□実施事業 多機能型事業所
2017年9月～放課後等デイサービス（定員10名）
・登録18名（うち17名は特別支援学校）

2021年6月～生活介護（定員10名）
・登録9名（うち6名は放課後の卒業生）
・障害支援区分6…4名 障害支援区分5…5名

利用者のフェイス

- 氏名 H氏
- 年齢 22歳
- 性別 女性
- 障害 パールマン症候群（胎児巨人症）
障害支援区分5 療育手帳A2 身体障害者手帳2級
- 家族 母親と2人世帯

現在までの様子

- 幼少期から家庭以外の場所で言葉を発することはほとんどない
- トイレや水分補給等すべて声掛け→拒否することはない
- 食事や更衣、トイレなど様々な生活場面で一つ一つの行動がゆっくりである
- 体格的なこともあり疲れやすい
- 思いが伝わらない、過度の緊張により泣き出すことがある
- カラオケやボウリング等の外出活動、室内でのエクササイズには積極的に参加

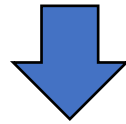
取り組みのきっかけ

数か月前から…

トイレから20分以上出てこないことがある



(職員) “動きがどんどんゆっくりになってきたね”



本当にそれだけが原因??
職員都合の声掛けも原因なのでは??

課題提起

H氏が自分の意思でトイレに行くことができるようになるには、
どのような取り組みが必要か？



家庭でも難しいトイレの訴えを施設で実現することからのスタートは
困難なのでは？



H氏が楽しみにしている余暇活動の選択からスタートし、自分で決める
ことに慣れてもらおう！

支援の内容（余暇活動）

（支援のツール）



- ① やりたいこと、一緒に活動したい職員のカードをそれぞれ3枚ずつ提示
- ② 1枚ずつ選んでホワイトボードにはってもらう

(支援方法)



□職員と1対1

□相談室を利用

□活動内容、職員のカードを
1枚ずつ選んでもらう

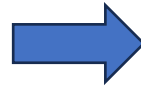
□支援者の固定

□選択中は声掛け等の介入は
一切行わない

（支援の経過）

- 当初は選択場面にいるだけで緊張し、泣き出すことがあった
- 職員を固定してからは緊張しながらも、選択しようとする姿勢が見られるようになった
- 1枚のカードを選択することに5分以上かかることもあるが、選んだ後に笑顔が見られるようになった

自分で選んだことは
必ず実現する



選択することは
楽しい！

そこで…

日常生活場面での意思表示に向けて取り組みをスタート

支援の内容（日常生活場面）

（支援のツール）



（支援方法）

- 作業中はH氏の手が届く場所に写真カードを提示
- 定時になっても本人からの意思表示がないときは声掛けを行い、○×カードに指さしで答えてもらう
- 余暇活動の選択と同様、選択中は声掛け等の介入は一切行わない

（支援の経過）

- 写真カードの導入の説明時、カードを見て嬉しそうな表情をしていた
- 初日の午前中、写真カードを指さしトイレへ行っているが、それ以降自ら意思表示をすることはなかった
- トイレの声掛けには〇×カードで答えている
- 声掛けに対し×のカードを指さし、拒否することができるようになった
- トイレに行った際はやはり20分以上の時間がかかることがある

まとめ

(余暇活動の選択)

どの職員が支援者でも意思表示できるようになるには？



日ごろの関りの中でより深い関係性を築く必要性

(日常生活場面での選択)

自らの意思表示はなかなか難しいが、声掛けに対し拒否することができなかったH氏が、カードを使用してNOと伝えることができるようになったことは大きな前進

しかし…

現在もトイレに行った際、20分以上の時間を要することがある



やはり意思表出が上手くできていないのではないだろうか？

今後支援を継続していく中で検証しながら、より良い支援方法を検討していく必要がある

おわりに

今まで…

事業所は発達障害、
主に自閉症の方が多く利用



スケジュールや構造化等
分かりやすく伝える支援
にばかり目を向けていた



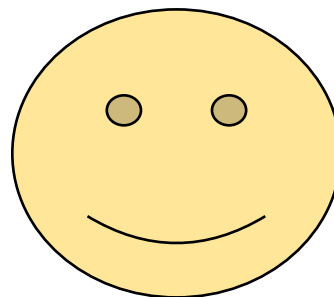
一方で…

本人からの意思の表出を促す支援は、十分に行き届いていなかったことへの気づき

声掛けに対し拒否しないから、
本人もそうしたいのだろう

(外食時) 本人がメニューを選んだけど、
嫌いなものが入っているから
こっちに시켜あげよう

(ショッピング時)
自分で選ぶのは難しいから、
私が選んであげよう



自己満足

まだまだ未熟な事業所ですが、

すべての利用者さんが安心して、自由に意思表示できる

温かい居場所となることを目指して、

これからも職員一同力を合わせていきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました